



2026 年 9 月 1 日

各 位

会 社 名 日清紡ホールディングス株式会社
代 表 者 名 取締役社長 石井 靖二
(コード番号：3105 東証プライム市場)
問い合わせ先 IR・コーポレートコミュニケーショングループ
(03-5695-8833)

投資有価証券の一部売却及び特別利益計上の見込みに関するお知らせ

当社は、四国化成ホールディングス株式会社（コード番号：4099 東証プライム、以下「四国化成ホールディングス」という。）が実施する同社普通株式の売出し（以下「本件売出し」という。）に際し、売出人の一社として参加し、当社が保有する同社普通株式の一部を売却することを決定いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

なお、本件売出しの詳細につきましては、同社が本日付で公表しております「株式の売出しに関するお知らせ」をご参照ください。

記

1. 売却する株式

- (1) 四国化成ホールディングス株式会社普通株式 2,000,000 株
- (2) 売却価格 未定（2026 年 9 月 9 日から 2026 年 9 月 14 日までの間のいずれかの日において決定される予定）

（注）本件売出しに伴い、需要状況等を勘案し、713,400 株を上限として、本件売出しの事務主幹事会社兼単独ブックランナーである大和証券株式会社が四国化成ホールディングス株主から借り入れる四国化成ホールディングス普通株式の日本国内におけるオーバーアロットメントによる売出し（以下「オーバーアロットメントによる売出し」という。）が行われる場合があります。オーバーアロットメントによる売出しに関連して、当社は、大和証券株式会社に対して 609,900 株を上限として、四国化成ホールディングス普通株式を貸し出すことがあります。また、609,900 株を上限に、2026 年 9 月 28 日までを行使期限として、所有する四国化成ホールディングス普通株式を追加的に取得する権利（グリーンシュエーション）を付与する予定です。本件売出しとともに、上限株式数にてオーバーアロットメントによる売出しが行われ、グリーンシュエーションが全て行使された場合、当社が保有する四国化成ホールディングス普通株式は 5,631,604 株となる見込みです。

2. 売却の理由

当社は、コーポレートガバナンス・コードに基づく政策保有株式の見直しによる資産効率の向上と財務体質の強化を図ることが、企業価値向上のために重要な経営課題であると認識しています。政策保有株式については、保有意義と経済合理性を踏まえた中長期的な観点から、毎年、保有の是非を含めた十分な検証を行っており、政策保有株式の縮減と流動化に努めています。

このような考えの中で、当社の保有する四国化成ホールディングス株式の売却について打診を受け、売出人として参加することといたしました。当社は本件売出しにより、さらなる資本効率の向上を図るとともに、持続的な成長に向けた投資やステークホルダーとの良好な関係構築のための施策を継続してまいります。

3. 今後の見通し

本件売出しによる当社から引受人への売却価格（引受価額）は、2026年9月9日から2026年9月14日までの間のいずれかの日において決定される予定です。当社は、本件売出しに伴う特別利益（投資有価証券売却益）を2026年12月期第3四半期連結会計期間に計上する見込みです。本件売出しが2026年12月期の業績に与える影響につきましては、売却価格が決定次第速やかに開示いたします。なお、グリーンシュエーションの行使の有無及び個数が確定し、影響額に重大な変動が生じた場合は、必要に応じて速やかに開示いたします。

また、四国化成ホールディングスとは本件売出し後においても、当社グループの重要な取引先及び共同プロジェクトのパートナーとして良好な関係を継続してまいります。

以上